

④ 最大公約数の罭 II

『記憶喪失』というモチーフ

★ 山下敦弘監督『味園ユニバース』について

宮下の失敗と同じことをやっているのに、何故感銘を受けるのか？

その謎を、宮下の失敗作と比較しながら、解題する。

段取り・ご都合の極致であっても、その作品、そのキャラクターならではの表現があれば、傑作になるということ。

★ それをふまえて、第二回目の課題を――

これも、ラストから考えないと難しい。

そして、最大公約数の罭に陥らないように、自分のネタ、アイデアを疑い、再検討し、『ならではの』の表現を意識して書く。

さらには、どうしてその『漢字』を使うのか、開くのかも意識して書く。その理由がわかった時、読者は、物語だけでなく、文章を読む楽しさをも味わうはず。

それこそが、伏線と回収であり、ミステリー。

そして、映像とは違う、小説ならではの楽しさであるはず。

⑤へ続く